

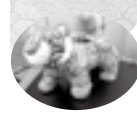
# 常念通り

白板地区公民館  
館報編集委員会  
☎(35) 7740

## 新年のご挨拶

白板地区公民館 運営委員会 委員長

古市 昭太郎



木目込み

白板地区のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍で日頃の活動が大きく制限される中、白板地区公民館においては館長をはじめ職員のみならず、一丸となって公民館事業を盛り上げてきています。感謝です。

地域交流活動の拠点である地区公民館は館報「常念通り」をとおして地区内外の情報をきめ細かく発信して地域活動の一助をなしてきていますし、館長さんは特技を生かして地区内史跡などをウォーキングでの学習と健康づくりの場としています。記録写真に見る参加者のイキイキとした表情がとても印象的です。

また、館報の中で地区内唯一の学校である丸ノ内中学校の生徒さんが「自治の鐘」と題して二段の紙面を使って毎号寄稿してくれています。記事をとおして、学校の状況紹介や、将来に向けた生徒さんたちの気構えなどが、とても素直に書かれています。みなさんも是非お読みください。

ひとつ残念なことは、丸ノ内スポーツクラブさんとの共催で実施してきた子ども達との楽しい集いである、各節目での祝い事やお泊りができなかったことです。今年はなんとかコロナ感染対策をして例年通りの行事が出来ればと願っています。

## 新年準備



12/23(木) 青木勝講師の指導でしめ飾りづくりを行いました 参加者10名



12/27(月) 講座「暮らしの花」参加者6名  
升を花器に見立ててお正月の生け花。松に紙垂を付けて準備完了



期間中6人の体験者がリース型のしめ飾り等を、館長の指導でつくりました 見学者4名



12/18(土) しめ縄交流会  
田川児童センター11名、地域ボランティア3名・館長・主事の5名で指導、リース型のしめ飾りを作りしました。「楽しかった、来年もやりたい」等の声があり、いい交流になりました

## 宮淵東町会「文化公演会」 11月23日(火)



地域の歴史について講演する内藤館長「奈良井川の淵と勢伊多賀神社の……」

## 新春連載

### 放光寺公民館

館長 大谷 拓哉

公民館利用に関しては利用者の方々にマスクの着用、入館時の手指消毒、換気の徹底をお願いしました。

町会の行事は10月10日に「秋の交流会」をうさぎ沢川に新設した小広場にて広場の安全祈願とお披露目も含めて実施。外会場でしたが入場者の把握体温測定、手指消毒をしっかりと行いました。

「野菜・果物販売」はあつとという間に完売、「逆さコマづくり」も多くのご家族が楽しんでいました。交流会の看板に掲げた「マスクごし 笑顔で挨拶 あかいるい町会」を実践していきたいものです。

### 宮崎町公民館

館長 北野 町子

宮崎町公民館は隣接の駒町と共用の公民館で、白板地区福祉ひろばの2階にあります。

本年度より、長い間御厚意で館のお世話をしてくださった方に代わって両町会公民館長を中心に管理をしていくことになりました。コロナで行事が少なかつたので、備品の点検や片づけ、今後の館運営に向けてのシステム作りを町会と一緒に進めているところです。

住民の高齢化、町会に対する意識の多様化、コロナ対策等を考慮に入れた上で今できることを考えていきたいと思っています。

### 白板南公民館

館長 武居 良和

今年度コロナ禍の公民館活動は非常に困難な状態でした。

春一番に行う三峰祭は、祭りを町内にある小さな神社で行い、直会を公民館にて町民参加で祝うのが直会のみ中止。初夏実施予定のバスハイク中止。敬老会は祝い品のみ届け祝賀会中止。サロン活動として行う「ひだまり」は10月まで中止。11月になりコロナがようやく収まってきたのでお茶とお菓子ぬきでマスクを着けて11月23日、12月7日・21日によりやく出来るようになりました。三九郎は町会役員とPTAでマスクを着けて行う予定。忘年会新年会は顔合せだけで食事なしとして弁当を持ち帰る予定です。町会行事やお茶会、食事会を開催できるありがたさを実感した年度でありました。

町内公民館長さん達に熱い思いを語っていただきました



# 自治の鐘 丸ノ内中学校

20

## 伝統を引き継ぎながら 新しいことを

今年度の丸ノ内中学校生徒会の大目標は、「発<sup>はつ</sup>」でした。「全校一人一人が意見を発信し、全校で生徒会を作り上げる」という想いの下に、今年度は様々な活動が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全校で集まるのが難しくなる中、今年から導入されたタブレットを用い、意見交流の場を設けるなど、コロナ禍で活動に制限がかかる中でも行うことのできる、新たな試みが企画されました。

そして今、丸ノ内中学校では生徒会選挙が終わり、来年度への引き継ぎが行われようとしています。

私は今年六月、学芸発表会百日前生徒集会でMCを務めました。それまでの集会とは違い、おもしろく、全校で盛り上げる集会として行ったこの会は反響も大きく、先生方から、今までの丸中とは変わって良かったと言っていたいただきました。



そういった経験を通して、私は今までの伝統を受け継ぐだけでなく、各々が想いを発信し、新しい活動につなげていくことで、丸ノ内中学校はより良くなっていくと感じました。丸ノ内中学校らしくない新しい丸ノ内中学校らしさを作っていかれると思います。

新型コロナウイルスの感染状況によって、できる活動が制限されてしまう今、思った活動を簡単にすることができない今だからこそ、来年度の生徒会では、より一人一人が参加して、全校で作りに上げる生徒会にしてほしいです。



焼いも大会

11月13日(土) 総勢360人参加  
さあ、いも投入 子ども会育成会



ひとりのできるよ

親子料理教室 ケーキを作ろう

12月5日(日) 子ども会育成会・地区公民館共催「親子料理教室 ケーキを作ろう」が午前・午後合わせて16組の親子37名が参加して開催されました。



お花のアレンジ 交流会

11月5日(金) 田川小2学年  
ひろば・公民館共催



市民学芸員の発表から 様々な切り口から「あめ市」についての講話がありました

松本風土記 あめ市を学ぶ

12月11日(土)、白板地区公民館・視聴覚室であめ市についての学習会が開催されました。市民学芸員3名と館長があめ市について講話をされました。参加者は20名でした。



ポールウォーキング 11月21日(日)

酒井浩文氏の指導でポールウォーキング  
しばし休憩



防災ウォーキング 兎沢川編 11月24日(水)

クランクなどを確認して放光寺へ  
放光寺の境内から地形を確認しました



水巡りウォーキング 城の南編 11月18日(木)

源地の水源地井戸  
【源地・源地・源智の表記がある…】